

## 【地域デザイン科学研究科（修士課程）経済経営専攻カリキュラム・ポリシー】

### （教育課程の編成）

1. 専門分野に対応して2コース（経済学コース，経営学コース）を設定し，学生はいずれかのコースに所属し専門的な研究を遂行する。
2. 学生は，学問的知見を基礎に執筆する論文である「修士論文」と，実務経験等を背景とした特定の課題に関する研究レポートである「課題研究」のうち，いずれかの修了研究を選択する。
3. 学生は，「修士論文」を選択した場合，特別演習および特別研究を通して研究を深め，中間報告会・最終報告会での報告を通して，副指導教員を含めた集团的指導体制の多面的な指導と審査を受け，最終試験に合格しなければならない。「課題研究」を選択した場合，特別演習および特別研究において，実践的・現実的な課題に取り組み，複数の審査委員による最終試験に合格しなければならない。
4. 入学直後に指導教員が定まるため，学生は，コースの選択や研究テーマの確定に向けて，第1セメスターの初めから履修指導を受けることができる。
5. 学生は，専任スタッフによる経済学，経営学，会計学とその応用科目群（特殊研究および特講）に加え，経済・ビジネス分野の専門家を外部講師として招聘し実践力を養うための科目群（特講）を受講することができる。
6. 特定のテーマに関心のある学生のために体系的に編成された科目群を「プログラム」として用意する（専門性を重視した「専門高度化プログラム」，学際性を重視した「分野横断型プログラム」）。

### （教育・学習方法）

学生が，ディプロマ・ポリシーに掲げた諸能力を獲得できるよう，講義，演習を体系的に実施する。本専攻においては，対話や討論，問題発見解決型学習，中間報告会等を実施することによって，各コースが掲げる教育目標の達成を図る。

### （学習成果の評価）

成績は，S，A，B，C，及びFの5段階をもって表し，S，A，B，及びCを合格，Fを不合格とする。各授業科目では，シラバスにレポートや最終試験等といった当該科目の「成績評価の方法」を明記し，可能な限り複数の評価手段によって成績を判定する。

修士論文及び課題研究の審査は，学位論文等審査基準に基づき厳格に行う。